



ブックレビュー

神道思想史研究

図書館長 高橋 美由紀

本書は、これまでの私の研究の成果をまとめた本です。私の研究領域である神道思想史とは、日本の神信仰の歴史的展開の相とその意味を、思想や観念のレベルから解明することによって、日本文化の特質を考えようとするものです。

日本列島に居住した人々は、素朴な自然崇拜やアニミズムを内実とする「カミ」の存在を信じていました。6世紀に仏教が伝来すると、仏教理論の体系の中に「カミ」を位置づけようとする動きが起こり、遂には神仏一体を説くようになります。「神仏習合」と呼ばれる日本独特の文化現象です。普遍宗教としての仏教を受容しつつも、従来の自分達のカミ信仰を捨てることなく、逆に仏教理論を用いて新たな「カミ」の存在意義を創出しようとしたのです。

中世に入ると、仏教や儒教、道教などの外来の高度な思想の概念を使いながら、カミ信仰の理論化を図ろうとする動きが起こります。こうして、戦国時代には吉田神道というカミ信仰の理論と儀礼の体系が作り出され、日本独自のカミの教え、「神道」の存在が主張されることとなります。

～ ようちえん絵本大賞 ～

絵本大賞

保育実習やボランティアで絵本の読み聞かせをするという学生さんが、絵本を貸出冊数目一杯借りていく姿をよく見かけます。みなさんはどのように絵本を選んでいきますか？

定番ものや一般的に評価の高いものは、読み聞かせのガイドブックなどに紹介されています。また、新しい絵本や、今の子どもたちにウケそうなものを知りたい時には、受賞作品に当たって見るのもよいですよ。

今回は数ある絵本大賞の中から、「ようちえん絵本大賞」[(財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 主催]を紹介します。

平成21年に創設されたこの賞は、第2回までは「はらぺこあおむし」や「ぐりとぐら」など、ロングセラーが上位を占めたため、第3回からは「新しい絵本を見つけよう」をテーマに「概ね2000年以降に出版された絵本で、既によく知られている作品は外す」という選考方法で再スタート。2013年第4回では特別賞3作品を含む15冊が選ばれました。幼稚園に勤務し、絵本と子どもに接する機会が多い方たちだからこそできる他にはないチョイスで、子どもの視線を忘れていないところがすばらしいです。いわゆるナンセンス絵本も選出されています。『うどんのうーやん』(岡田よしとか作)はその代表格です。『ちくわのわーさん』とともに手にとってみてください。感想なんていりませんよ(笑)。

<第4回ようちえん絵本大賞 受賞作品>

...特別賞

- 『おへそのあな』
- 『あかにんじゃ』
- 『新幹線のたび～はやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断』
- 『おおきくなるっていうことは』『まじよのほうき』
- 『しろくまのパンツ』『おいしいおと』『ふゆじたくのおみせ』
- 『つんつくせんせいといたずらぶんぶん』『うどんのうーやん』
- 『ぞうくんのあめふりさんぽ』『新世界へ』
- 『小学館の図鑑 NEO+くらべる図鑑』『ねこガム』『なるほど忍者図鑑』

(図書係：稲妻 晶子)



江戸時代になると、「徳川の平和」と称される泰平の世が到来し、人々の関心の中心は、来世的な教えである仏教から、この世の人間のあり方を説く儒教へと移行します。幕府や藩は儒学者を登用して学問所を設置し、武士の教育に当たらせるとともに、寺子屋の教科書などを使って庶民にも儒教道徳を普及させようとなりました。こうして、江戸時代には儒教を研究する儒学がたいへん盛んになりました。すると、儒学者や神道家の中から、神道と儒教の教えは本質的に同一であるとの主張を軸とした新たな「神道」を唱える動きが出て盛んになります。

日本では、古代以来、大陸から高度な先進文明の波が押し寄せ受容されてきました。にもかかわらず、カミ信仰は失われることなく、今日まで生き続けています。いったいそれは何故なのでしょう。それを解くカギは、この日本が置かれてきた地政学的・文明論的位置であると私は思っています。「日本」とは何か、「日本文化」とは何か、そんな問題に関心のある方は、図書館で手にとってみてください。



「神道思想史研究」

高橋美由紀 著
ペリかん社

所在：学生閲覧図書コーナー
請求記号：171/タカ/学関

わたしの本棚

～ アントニオ・ガウディの世界とは? ～

「アントニオ・ガウディ」、スペインのカルチャーニャ出身の建築家、サグラダファミリア、グエル公園、カサミラなど代表的な作品が数々あります。

スペイン内戦で設計図や模型が失われた中、とりわけ現在も建設中のサグラダファミリア(2026年前後の完成をめざす)の中心としてガウディの遺志を引き継ぎ、実際に携わる日本人彫刻家、外尾悦郎の実話です。20代にほんの小さなきっかけで「自分は石を彫りたい」という震える心に従って日本を飛び出し、スペインのバルセロナ行の電車で飛び乗ったことから現在いたる軌道を辿っていきます。

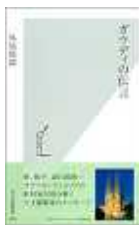
ガウディの作品は奇抜なデザインでも知られていますが、自然を取り入れつつ、色と音をも調和する構造から具体的にどのように自然から学んだのか、その学びをどのような形で建築に活かしたのか、という知恵を見事に明かしてくれているのが魅力です。次々と謎が解き明かされ、斬新で興味が湧きます。

一方、実は深い思索と信仰の賜物であることもよくわかります。建築とは単に便利で効率がよいだけでは不十分であり、人間性と深くかかわり人間性を育てるものでもあることを教えています。本書の中に、ガウディが弟子たちに向けて、「今日より明日はもっと美しいものをつくろう」という一文があります。

「ガウディの伝言」

外尾 悦郎 著
光文社

所在：ベストセラー



人との出会いを通じて、著者が感じたこと、受け取ったことが新鮮に直に届き、響きます。同時に、仕事に対する取り組む真摯な姿勢やその遺志を継承する弟子たちを温かく描いているストーリーです。

(生涯学習支援室：
小熊 忍)



今回はインタビュー企画をお届けします。現在宮城教育大学の図書館に勤務している、卒業生の石橋典子さんへ、大学図書館でのお仕事やイベント等、面白いお話しをお伺いしました。

現在のお仕事は？ 宮城教育大学附属図書館でカウンターでの貸出返却、利用案内などの閲覧業務が主な仕事です。他には展示・イベントの企画、文献の取り寄せ、HP管理など幅広い業務に携わっています。宮教大はアットホームな雰囲気を利用者との距離が近く、毎日楽しく仕事をしています。

「ビブリオバトル」のイベントに関わっているそうですね。「ビブリオバトル」とは、お薦め本を1人5分で紹介し、一番読みたくなった本に投票、チャンプ本を決定するという書評合戦です。本はもちろん、本を通して人を知ることができる点が魅力です。一度、生で聴くと引き込まれること間違いなしです！今は宮教大の学生サークルBIBLionの活動をサポートする形で関わっています。

他には何か活動していますか？ 東北の図書館員を中心とするMULU(ムル)というコミュニティに参加しています。情報交換や勉強会のほか、芋煮会などのイベントもあり広い人脈ができました。最近ではメンバーが考案した「図書館体操第一」が新聞・テレビで話題になっています。

最後に後輩である本学学生へ一言! 大学での勉強に図書館は欠かせません。役立つもの、面白いものがたくさん入っているのでぜひ使ってください！そして、いろいろな経験をしてほしいです。読書、旅行、サークル、ボランティア、ビブリオバトル!! どんなものも皆さんの糧や力になると思います。

今回のインタビュー、いかがでしたか？ ビブリオバトルは誰でも参加でき、公式ウェブサイトもありますので、興味のある方はぜひ参加してみてください。(閲覧係：五十嵐 智子)

図書館 14
利用シリーズ

～ 図書館HPがリニューアル ～

今年4月に約3年ぶりに図書館HPをリニューアルしました。画面構成も一新し、対象となる利用者ごとにページを設け、必要な情報にアクセスできるようになりました。在学生、教職員の方の利用方法の案内に加え、本学で学びたい方や、卒業生、地域・一般の方が利用する方法も掲載しています。



トップページには、図書館からのお知らせや企画展示、各種ガイダンス等の案内を掲載し、随時最新の情報を公開しています。

資料検索では学内の所蔵を検索するOPACや論文記事を探すためのデータベースなど調べる目的によって頂

目別に掲載しています。

電子図書館からは電子ジャーナルや新聞、事典・辞書等のデータベースを利用することができます。

また今回、新しく図書案内の項目を設けました。学部学生・教職員の皆さんが図書館の2Fにあるベストセラーコーナーからお薦めの一冊を選び、リレー形式で紹介する「こんな本いかが?」や全国ベストセラーズ調査のランキング等を載せています。ここでは学術書以外の本の情報を多くご案内していますので、勉強の合間などにちょっと一息いかがでしょうか。

図書館では、今後も利用者の皆さんの学習や調査、研究に役立つ情報の提供に努めて参りますので、新しいHPを是非ご活用ください。(雑誌係：斉藤 由理香)

前号でもご紹介した、東日本大震災アーカイブ第2弾です。

今回は、国立国会図書館と総務省の共同プロジェクトであるNDL東日本大震災アーカイブ、愛称 ひなぎく の紹介です。平成25年3月7日より正式公開されました。

ひなぎく は、日本全体で東日本大震災の記録等を収集・保存・提供し、国内外への発信、及び後世へ永続的に伝えていく目的で作成され、官民連携のもと一元的に情報の活用ができるように開発されました。

民間機関のWebサイトや出版される見込みのない個別の文書や写真、動画等が含まれています。例えば、河北新報震災アーカイブの情報もこのサイトで検索できます。カテゴリ、キーワード、詳細検索が可能です。

愛称「ひなぎく」は、花言葉「未来」「希望」「あなたと同じ気持ちです」に、復興支援事業の趣旨を重ねて名付けられました。(図書係：八巻 千穂)



NDL 東日本大震災アーカイブ (<http://kn.ndl.go.jp/>)

図書館からのお知らせ

夏季休業中の長期貸出

- 期限：平成25年7月19日(金)～
- 返却日：平成25年9月11日(水)
- 対象資料：図書
- * バストセラーも含む、貸出冊数は通常と同じ。

お知らせ

論文検索ガイダンス

- 日程：10月17日(木)～10月22日(火)
- 申込方法：HP、ユニバーサルパスポート、図書館掲示等でご案内します。
- * 開催期間は変更となる場合があります。HPや掲示等で確認してください。

資料移動のお知らせ

- リザーブ、問題集・・・3F入口付近

展示について

- 定期的に2Fフロア等で展示を行っております。展示内容は、HP等で案内していますので、ぜひご覧ください。

編集後記

今回の「ブックレビュー」は高橋美由紀先生、「わたしの本棚」は小熊忍さんに書いて頂きました。誠にありがとうございました。

新入生のみなさん、大学には慣れてきたでしょうか。図書館を活用すれば、より有意義な4年間を送ることができると思います。ぜひ、一度来館してみてくださいね。

五十嵐・稲妻・菅原・八巻

